

背景・目的

健康サポート薬局として、地域住民の健康のファーストアクセスとなるべく、これまで店舗にて健康イベントを実施してきた。

今回、店舗外での地域活動として、近隣高齢者施設（サービス付き高齢者向け住宅）での健康イベントを企画し、実施した。

そこで

近隣高齢者施設における、本活動への理解・受け入れや栄養士活動拡大（介入）の可能性について検討した。

方法

1) イベント開催

近隣の高齢者施設にて健康維持イベントを開催

2) アンケート調査

上記イベント時にアンケートを実施

参加満足度、健康への関心、薬局管理栄養士の認知度等を調査

3) 食事状況調査

施設職員への聞き取り

【イベント開催・アンケート調査期間】

2019年1～6月

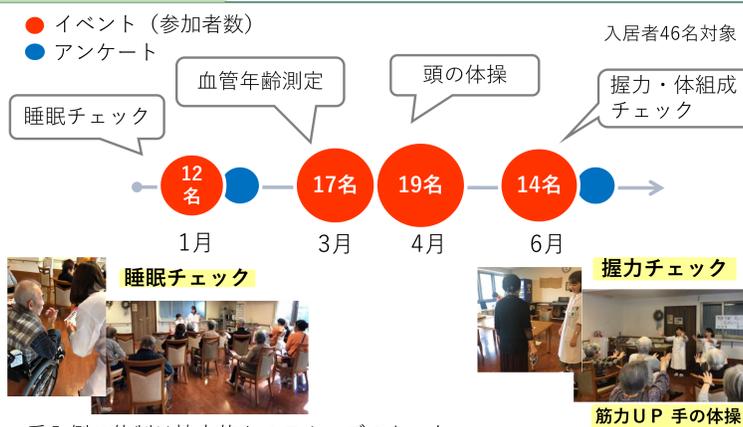
【調査対象者】

田辺薬局店舗の近隣高齢者施設*入居者

*施設の特徴
・サービス付き高齢者向け住宅
チェーン
・自立者が多い

結果

イベント開催状況



- ・受入側の体制は協力的かつスムーズであった
- ・参加リピート率は高く、体験型のイベントの需要が高かった

アンケート調査結果

	1回目(1月)	2回目(6月)
参加者人数	12名	14名
アンケート回答者	6名	13名
アンケート形式	記述	口頭*
調査項目（結果/回答数）		
①イベントに満足した	5/6 (83%)	調査なし*
②健康への関心をもった	1/3 (33%)	1/13 (8%)*
③薬局管理栄養士の存在を知っている	5/6 (83%)	8/13 (62%)*

*1回目アンケートを実施し、記述式でのアンケートは困難であったため、アンケートの形式を変更した（調査項目は②、③のみ）

アンケート調査で分かったこと

高齢者施設では、アンケート調査が難しい

字が書けない、目が見えにくい、耳が聞こえにくい等の理由により、アンケートの実施が困難だった

食事状況調査結果

施設職員への聞き取り内容

- ・食事は施設で毎食提供されている
- ・食事内容としてはバランスが取れたものが提供されているが、個人の必要栄養量に合わせた食事ではない
- ・間食の提供はない

考察

イベント開催

- ・高齢者施設における健康維持イベントとしては成功
- ・地域と繋がりを深める手段の1つになり得る

栄養士活動拡大(介入)の可能性

- ・バランスのとれた食事が提供された環境の中でも意識出来る事（食の楽しさ、食べる順番(肥満・糖尿病)、食べ物の栄養の効果等)のアドバイス
- ・間食のアドバイス
- ・誤嚥を防ぐ口の運動・咀嚼回数についてのアドバイス、等

結語

- 1) 高齢者施設における健康維持イベントは、地域と繋がりを深める手段の1つになり得る
- 2) 健康維持イベントにて、参加満足度、健康への関心、薬局管理栄養士の認知度等の調査を試みたが、字が書けない、目が見えにくい、耳が聞こえにくい等の理由により困難だった
- 3) 入居者の食事状況を調査結果から、バランスのとれた食事が提供される環境の中でも、栄養士活動拡大（介入）の可能性があることがわかった

今後の展開

健康サポート薬局店舗として

地域包括ケアシステムの一役割として、医療・介護・予防など地域の活動に積極的に関わり、店舗外へ活動を広げていく